



8月 ちゅうりっぷだより



2024. 8. 1

感触あそびをたのしもう

ますます暑さも厳しくなり登園する際もしんどいな~と思う日々ですが、子どもたちは登園してくると「さあ！今日も遊ぶぞ！」と棚からおもちゃを出してきて指先を使ってポチポチとボタンを押したり車を走らせます。夏の間にはかできない、感触あそびを楽しみたいと、ひんやりマットや春雨遊びをしました。初めは「これは何？」と怖がったり、ツンツンと指で押して確かめていた子どもたちも、保育者が触って遊び方を見せると楽しくなって手足の色が変わるほど興奮して遊んでくれました。春雨は、初めて触る感触にびっくりしているお友だちが多く触ることに躊躇していましたが、保育者が触って「冷たいよ！びよーんと伸びるね」とあそび方を見せながら子どもたちに渡すと引っ張ったり、ちぎったりしながら楽しんでくれました。色水あそびでは、ペットボトルを振ると色が変わっていく様子に驚きながら夢中になってシャカシャカと振りました。お友だちに「ちょうだい」と手を出されても「いやだ」という程、楽しんでくれて嬉しかったです。

また園庭にも出てどろんこ遊びも楽しみました。乳児さん幼児さんのように水をたくさんは出せませんが、泥の感触を楽しんでくれて、衣服も体もドロドロになるまであそび、満面の笑顔を見せてくれました。引き続き、様々な感触あそびを楽しみたいと思っています。

毎日、シャワーで汗を流したり、どろんこの服を着てあそぶ機会が多くなりますので、毎日のお洗濯、衣服の補充をよろしくお願いします。



…ちいさいおともだちと…

7月に新しいお友だちが3人入園され、新しいお友だちにも興味津々の子どもたち。同じ0歳児さんでも、小さなお友だちには、さらに関心を持ってきて、泣いていると「ん？」「アッ！アッ！」と泣いているよ、寝ているよと教えてくれます。横に並んで寝転んであげたり、ヨシヨシとなでてくれたりと、ちょっとお兄さんお姉さんだよ！という表情が嬉しく思います。この気持ちの芽生えから、自分でズボンを脱いでみよう…と頑張る姿もあります。気持ちの育ちを大事に自分でやってみたい！を見守りたいと思います。



毎身体操をしているよ

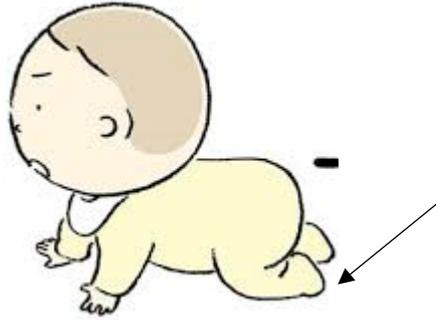
毎身体づくりの体操をしています。4月から初めて泣いていたお友だちも、最近では少しずつ「体操するのかな？」と自分から来てくれることもあります。食事の時間に座って楽しく食べられるように…。あそびの中でも足を前に出して腹筋をつかいながら座れるように…と体づくりを頑張っています。裏面にお家でもできる体操を載せますのでぜひ、スキンシップをとりながらしてみてください。



うま

少しずつ歩けるようになってきた子どもたちも、ハイハイや、すり這いで移動しているお友だちも手が上手く出ずに転んでしまうことが多いです。
転んだ時にパッと手が出るためには「首に力が入る→頭を起こす→重心をもどす→手が出て支える」の動きが必要です。これらの流れがひとつとなって、動作を引き出します。「馬」のように首に力を入れるうんどうは首の力を育て、それにともない手がパッとでるようになる事を誘発します。

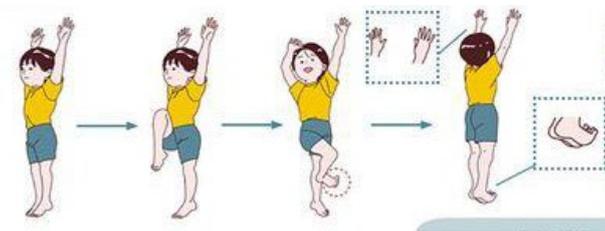
開いた手でしっかりと体を支える
→腕の力が育つ
→手先の器用さの土台



自然なハイハイの発達に沿って、しっかりと足の親指の蹴る力を育てる

どんぐり

人は寝返りをするとき、無意識に首の立ち直りを行い、床に頭を打たないようにしています。
→首の立ち直り反射
このどんぐりの体操では、寝返りを繰り返すことで、首の立ち直り反射を強化します。首の反射をよくすることで腕や手の反射も誘発されます。(例) 転んだ時に咄嗟に手を出せる
また、腕や手の反射があると咄嗟の時に手が付けるようになり、視線を合わせて人の話が聞けるようになります。見たいものから視点が外れずに見ているものに手を伸ばすことができます。



体のひねりを繰り返します
・腹筋を鍛え、呼吸(口→鼻)と発語を促す
・骨盤を整え、左右のバランスをよくする

成長段階について
最近では子どもたちの成長発達の中で、ハイハイなどを飛ばして次の段階に進むことが多くなっています。
(1度獲得した動きが定着しない)
日々の体操やふれあい遊びを通して、すり這いやハイハイなどを繰り返して遊べるようにしたいと思います。

